

第70回西日本生理学会

日 時：令和元年11月1日（金）・2日（土）

場 所：ニューウェルシティ宮崎

当番幹事：宮崎大学医学部応用生理 丸山真杉・統合生理 高宮考悟

参加者：72名

演題数：33題

令和となつてはじめての第70回西日本生理学会は、宮崎大学医学部生理学分野の2つの教室の共同開催として宮崎市駅近くのニューウェルシティ宮崎にて開催されました。台風の影響を考慮して例年より遅い開催となり、参加者の各校での講義・実習などの都合で参加が困難な例も報告を受けました。宮崎市は九州内では、一部の参加者には、移動の面でやや不便な位置にもかかわらず、総数72名の参加者があり、総演題数は33題で、そのうち一般演題25題、日本生理学会九州奨励賞審査対象3題、学部学生演題5題をすべて口演の形式で2日間にわたって行なわれました。

参加者は、九州・沖縄からの参加を中心にその他京都や九州外からも5名の参加がみられました。演題は例年通り幅広い分野の研究発表の後、活発な討論がなされました。

日本生理学会九州奨励賞は、琉球大学の高松岳矢先生のご発表で「双極性障害多発家系による病態モデル細胞の開発の試み：家系例のゲノムシーケンスと疾患iPS細胞の統合アプローチ」が選出され、表彰状と記念品の授与が懇親会の場でなされました。また新たに教授とられました琉球大学医学部システム生理学講座の宮里実先生からも就任のご挨拶をしていただきました。

評議員会・総会では、これまでの収支報告と、来年度開催される次回の当番校は、九州大学医学部疾患情報研究分野の今井猛先生に担当していただくことが報告・承認されました。

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2） p. 30～p. 40 をご覧ください。